

中級者向け木版画ワークショップ

テーマ：ヨーロッパの印象派と日本の浮世絵

「亀戸梅屋舗」をつくる

19世紀後半、ヨーロッパの各地で万国博覧会が開催され、日本からも浮世絵をはじめとする多くの工芸品が出品されました。それらの工芸品はヨーロッパの人々に大きな衝撃を与え、大変な日本ブームが湧き上がりました。

とくに浮世絵は多くの若い芸術家の目に止まり、それまでの宗教画や貴族の肖像画にはなかった鮮やかな色彩や大胆な構図が、新たな表現方法として広く受け入れられました。

浮世絵を愛したオランダ出身のポスト印象派画家のゴッホは、生涯で何点もの浮世絵を模写しました。その中のひとつが「ジャポネズリー：梅の開花」で、元となった浮世絵は、歌川広重の江戸名所百景「亀戸梅屋舗」です。

今回のワークショップでは、その「亀戸梅屋舗」をゴッホのように模写し、オリジナルの木版画作品に仕上げます。浮世絵を愛した19世紀のヨーロッパの芸術家に想いを馳せて、自由な感性であなただけの「亀戸梅屋舗」を作ってみましょう。



ゴッホ「ジャポネズリー：梅の開花」



歌川広重の江戸名所百景「亀戸梅屋舗」

作品概要：3版4度摺り

大きさ：約A4サイズ

背景の版（職人が事前に制作）：ぼかし2度摺り

木の版（参加者が制作）：1度摺り

花の版（参加者が制作）：1度摺り

「亀戸梅屋舗」の梅の木と花を模写し、2版に分けて制作します。

事前に背景（赤と緑）が摺られた紙に摺り重ね、最終的に3版4度摺りの作品に仕上げます。

日時 9月22日（火・祝）9：30～15：30
午前の部 9：30～11：30 デザイン・転写・彫り：版木2枚
午後の部 13：30～15：30 摺り：和紙3枚

定員 10名
価格 10,000円
予約 電話での受付

○昼食のご用意は各自お願い致します。

お弁当などをご持参いただくか、もしくは近隣の飲食店をご利用ください。

○当日は長時間の作業になりますので、ゆったりとした動きやすい服装でお越しください。

○道具などはすべてご用意致しますが、彫刻刀やバレンなどをお持ちの方はご持参いただいても構いません。

○このワークショップは中級レベルの方向けの内容ですが、初心者の方でもご受講いただけます。

当日の流れ

午前

デザイン：「亀戸梅屋舗」を元にして、木の版、花の版を自由にデザインする

転写：トレーシングペーパーでデザインを版木に転写する

彫り：木の版と花の版の2枚をそれぞれ彫る

午後

彫りの仕上げ

摺り：既に背景（赤と緑のぼかし）が摺られている紙を配る
背景の摺りを職人が実演でお見せする
参加者が木の版と花の版を摺る